

甲賀市教育委員会

教育長 西村文一様

大原学区幼保・小中学校再編検討協議会 報告書

大原学区幼保・小中学校再編検討協議会（以下「協議会」という。）では、甲賀市教育委員会が示された『甲賀市幼保・小中学校再編計画』（以下「再編計画」という。）に対し、令和2年1月から4回にわたり、大原学区の子どもたちにとってより良い保育、教育環境について、子どもの育ちを最優先に慎重に協議を重ねてきました。

まず、大原にこにこ園について、現在、子どもの人数が少なく、今後とも減少が見込まれます。そのような中、甲賀地域で3園が1つの統合認定こども園になることで保育士が手厚く配置できます。また、甲賀西保育園では、現在自園給食を行っていただいております。公立園として今後も3歳以上のアレルギー対応が期待できます。

次に、大原小学校については、今後も世代間交流や自然体験教育が可能な地域に開かれた学校であり続けることを願います。将来の児童数の減少を考えたとき、再編計画に示された3小学校を1校に統合することによって、子どもたちはたくさんの友だちができたり、クラス替えにより視野が広がったりするなど、良い点があります。

しかし、保護者や地域にとって不安もありますので、再編計画を進めるには、大原学区、油日学区、佐山学区が納得するまで議論する必要があります。例えば、学区が広がることで学校と自宅との距離が遠くなる地域の子どもたちは、家族との時間が少なくなります。また、地域の力を新しい学校に取り込む方法、子どもたちの安全な通学方法、避難場所などについて検討しなければなりません。また、統合されたときの学校名をどうするかという課題も考えられます。

以上のことから、将来を見据えた中で協議会では「再編も一つの選

択肢である」との結論となりましたので、ご報告いたします。

子どもたちの思いと確かな育ち、地域発展のために夢のある学校づくりができるよう今後ともご尽力いただきますようお願いいたします。

令和2年10月2日

大原学区幼保・小中学校再編検討協議会
委員長 大原久和